令和５年度　授業改善推進プラン

担当教科（　　技術　　）　　学年（　　１　学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

「自分の考えを書いたり、発表する機会が与えられたりしている。」にどちらかといえば当てはまらないと回答した生徒が１８％、当てはまらないと回答した生徒は３％と多かった。「学ぶ楽しさ」を感じるは、当てはまる、どちらかといえば当てはまるで９７％あったので、楽しい授業だったことが分かる。

授業等の課題分析

小学校でタブレットの提出課題に慣れた生徒が入学してきたため、課題提出をノートからタブレットに行う方法に変えても昨年度の１年生よりも提出率がとても良い。自分の考えを単元ごとに書いて提出させているが、毎授業で発表する機会を与えることが出来ないので、どのように行っていけばよいかが課題である。

目指す授業

板書や資料（プリント・ワークシートや教材）がわかりやすい授業。
自分の考えを書いたり、発表する機会が与えられたりしている授業。

授業改善のための具体的な方策

・黒板にめあてや目標、授業の流れを板書してわかりやすい授業を展開する。
・ワークシートに自分の考えや、他の生徒のアドバイスなどを書き込めるよう改善を図る。
・授業中、友人同士で教え合う時間、学んだ内容を確認し合う時間を確保する。
・実技の時間が多い教科であり、生徒の興味・関心を高めるための指導法を工夫していく。
・作品完成後、自己評価や製品のプレゼンテーションなど、発表の場をつくる。

令和５年度　授業改善推進プラン

担当教科（　　技術　　）　　学年（　　２　学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

「自分の考えを書いたり、発表する機会が与えられたりしている。」にどちらかといえば当てはまらないと回答した生徒が２１％、当てはまらないと回答した生徒は８％と多かった。また「他者の考えや思いを取り入れ、自分の考えを広げ深めることができている」にどちらかといえば当てはまらないと回答した生徒が２８％いた。「学ぶ楽しさ」を感じるは、当てはまる、どちらかといえば当てはまるで８７％あったので、楽しい授業だったことが分かる。

授業等の課題分析

昨年度から、ノートを無くしPCで行う方法にし、昨年度よりも提出課題に慣れた生徒が増えてきた。自分の考えを単元ごとに書いて提出させているが、毎授業で発表する機会を与えることが出来ないので、どのように行っていけばよいかが課題である。発表する機会をどう増やすかも課題である。

目指す授業

板書や資料（プリント・ワークシートや教材）がわかりやすい授業。
他者の考えや思いを取り入れ、自分の考えを広げ深められる授業
自分の考えを書いたり、発表する機会が与えられたりしている授業。

授業改善のための具体的な方策

・黒板にめあてや目標、授業の流れを板書してわかりやすい授業を展開する。
・ワークシートに自分の考えや、他の生徒のアドバイスなどを書き込めるよう改善を図る。
・授業中、友人同士で教え合う時間、学んだ内容を確認し合う時間を確保する。
・実技の時間が多い教科であり、生徒の興味・関心を高めるための指導法を工夫していく。
・作品完成後や単元後ごとに、自己評価や製品のプレゼンテーションなど、発表の場をつくる。

令和５年度　授業改善推進プラン

担当教科（　　技術　　）　　学年（　　３　学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

「他者の考えや思いを取り入れ、自分の考えを広げ深めることができている」にどちらかといえば当てはまらないと回答した生徒が１７％、当てはまらないと回答した生徒が１１％でした。また「授業の最後に学習内容を振り返る場面がある」にどちらかといえば当てはまらないと回答した生徒が１７％、当てはまらないと回答した生徒が１１％でした。「学ぶ楽しさ」を感じるは、当てはまる、どちらかといえば当てはまるで８８％あったので、楽しい授業だったことが分かる。

授業等の課題分析

昨年度から、ノートを無くしPCで行う方法にし、昨年度よりも提出課題に慣れた生徒が増えてきた。自分の考えを単元ごとに書いて提出させているが、毎授業で発表する機会を与えることが出来ないので、どのように行っていけばよいかが課題である。発表する機会をどう増やすかも課題である。

目指す授業

板書や資料（プリント・ワークシートや教材）がわかりやすい授業。
発表する機会が与えられる授業
授業の最後に学習内容を振り返る時間のある授業。

授業改善のための具体的な方策

・黒板にめあてや目標、授業の流れを板書してわかりやすい授業を展開する。
・ワークシートに自分の考えや、他の生徒のアドバイスなどを書き込めるよう改善を図る。
・授業中、友人同士で教え合う時間、学んだ内容を確認し合う時間を確保する。
・実技の時間が多い教科であり、生徒の興味・関心を高めるための指導法を工夫していく。
・授業の最後に学習内容を振り返る時間を作る。
・作品完成後や単元後ごとに、自己評価や製品のプレゼンテーションなど、発表の場をつくる。